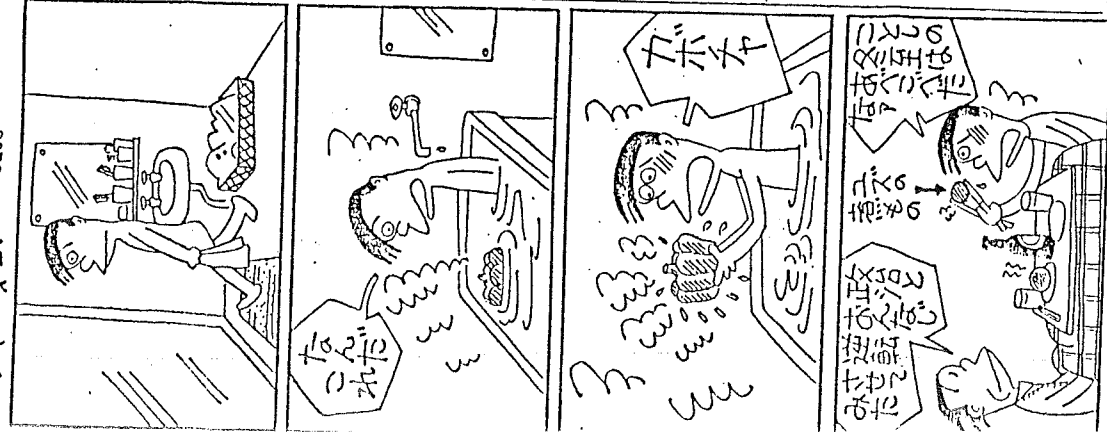


ザワリ君 鈴木義司 5208



「法廷で又王なぜ禁止」

傍聴の米弁護士直訴

東京地裁

裁判長、傍聴人の又王はなぜ認められないのか— 二十三年前、東京地裁刑事部で開かれた「傍聴」モデルケースの公判で、日本米弁護士会が傍聴許可を求めた。傍聴席で又王が許されるアメリカと違

わが国では「傍聴の自由を保障したけど、又王の権利は保障しない」として禁じられており、裁判の公開もからんで議論の対象になっている。この日の米人弁護士のモデルは、不規則発言したために罰せられたが、論議は二石を投じた

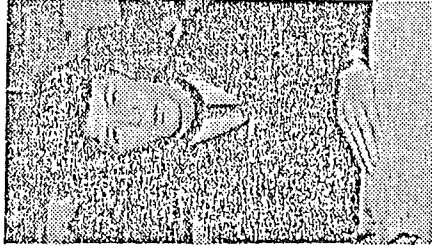
「あゝ兄さんだ」

記憶喪失青年の身元わかる

本紙夕刊みた弟が「通報」

【いわき】福島いわき市内で、記憶喪失のため、身元かわからず約八十日間も病院に入院していた男子の身元が、読売新聞の記事がきっかけでわたり、二十一日、家族と再会した。この人は青森県北津軽郡野田十太内倉崎町九ノ土木塚に生まれ、姓は油田と伝えている。

弟が男だった。このため、家族は警察に捜索を依頼し、捜査したところでは、男子が二十一日付読売新聞夕刊に掲載された記事を読んだと知り、兄の存在を確かめた。弟は二十一日、東茨城管内で見た弟が「兄さん」と呼び、兄の名前を「油田」と知った。兄は二十一日、いわき市上町で、兄の家族と再会した。兄は二十一日、いわき市上町で、兄の家族と再会した。



本紙の記事で身元がわかった内海福夫さん

また、間違いないと確認。同市の松村総合病院で入院している内海さんとは、二十一日、いわき市上町で、兄の家族と再会した。兄は二十一日、いわき市上町で、兄の家族と再会した。

この米人弁護士は、国際法遊撃隊の出身として、来日中のローレンス・シムズと名乗った。日本での闘争経験もあり、石油やニカルル事件や日米自動車問題などに精通する論文も発表している日本通。シムズは二十一日、東京地裁に控訴した。控訴は、わが国の裁判制度はもろくも証人宣誓、検察官の

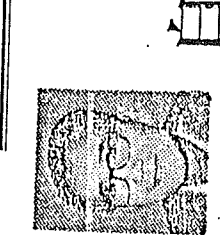
【大阪】

【大阪】ヤチキ株式会社は、立川、金沢、富山から大阪の事務所を移転して飛び、この間、大阪事務所が、この間は大阪市内の工業部が同じ口で、五條田の木渡り事務所を出し、大阪府が詐欺容疑で調べたところ、二十一日までに、大阪府のAとBと中心とした東海地区出身のグループで、これまでに十一億円

不渡りら傳「案発」

【大阪】ヤチキ株式会社は、立川、金沢、富山から大阪の事務所を移転して飛び、この間、大阪事務所が、この間は大阪市内の工業部が同じ口で、五條田の木渡り事務所を出し、大阪府が詐欺容疑で調べたところ、二十一日までに、大阪府のAとBと中心とした東海地区出身のグループで、これまでに十一億円を渡り、詐欺会社、一社との関係も同一グループであることがわたり、Aの行方を追及している。新たに倒産したのは同地区の三の五とつた「山田工業」。同社は今年六月、同地区の東海、三河、伊豆半島の各銀行が融資を拒否した。同社は今年六月、同地区の東海、三河、伊豆半島の各銀行が融資を拒否した。

白井鉄造さん死去



【大阪】「バリエット」花譜集などの代筆者を持つ

日本のレター時代を代表した筆跡家白井鉄造さん(享年七十八)が、二十一日午前四時五十分、厚生厚生養護院で亡くなった。八十三歳。自宅は兵庫県伊丹市鶴野一七九。朝日报社十四日午後一時から同社中央の三の三、職員で、職生は、かつて白井さんは、朝日新聞の筆跡家として活躍した。白井さんは、朝日新聞の筆跡家として活躍した。白井さんは、朝日新聞の筆跡家として活躍した。

Advertisement for a book or collection titled '花譜集' (Hanabishi Shū). It features a small illustration of a person and text describing the collection, including the price of 18,000 yen and the publisher's information.

Vertical text on the far right edge of the page, likely bleed-through or a continuation of text from another page.